

事業番号	05 05 01	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	長野県長寿社会開発センター運営事業補助金			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	健康増進課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 2 高齢者の活躍の促進			実施期間	H元 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	1-2 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造					
	施策展開	4-(2) 信州に根付くつながりの継承 (ア) 地域の担い手の確保					

1 事業の概要

目指す姿	高齢者の生きがいづくり、健康づくりへの支援及び高齢者の社会参加活動の推進を図り、豊かで活力のある長寿社会の実現を目指す。					
現状（予算編成時）	・急激な高齢化社会の進行、人口減少化の中で、高齢者を取り巻く環境や社会的ニーズが大きく変わってきていることから、「人生90年時代」を前提とした目指すべき高齢化社会の姿の実現に向けて、平成25年度に行ったセンターの役割などについての検討に基づき、高齢者を必要とする活動と人材をコーディネートする仕組みづくりなど事業体系を見直し、高齢者の社会参加をより一層促進するための取組を進めている。 ・信州ねんりんピックの開催や全国健康福祉祭への参加、シニア大学の運営を通じ、シニア層の多様な形での社会参加活動を支援している。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施： 実施中		・公益財団法人長野県長寿社会開発センター運営事業補助金交付要綱 ・県下10広域に支部を構築し、全県的に事業を実施していくためには、県の関与が必要である。			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	・シニア大学入学者数:1,200人 ・シニア大学生アンケートにおける満足度:80% (設定理由:シニア層の多様な社会参加を促進するため、社会参加活動のきっかけとなる幅広い分野の学習ができるシニア大学の入学者数(過去4年間平均の3%増加)及びアンケートにおけるシニア大学生の満足度(80%)を設定。)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算)		H29 (当初)
	長野県長寿社会開発センター運営事業補助金	補助金	・シニア大学の企画、運営 ・信州ねんりんピック(式典、スポーツ交流大会、高齢者作品展等)の開催 ・全国健康福祉祭(スポーツ交流大会、文化交流大会等)への参加 等〔県長寿社会開発センターへの補助〕	67,012	67,012	70,311
		合計	67,012	67,012	70,311	

事業コスト	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算		67,903	67,012	70,311				目標	成果	達成状況	
		補正予算					シニア大学入学者数	1,203人	1,112人	1,200人	1,044人	未達成	一
		合計(A)		67,903	67,012	70,311	シニア大学生アンケートにおける満足度	76%	77.9%	80%	77.1%	未達成	一
	Aの財源	一般財源		67,903	67,012	70,311							
		県 債											
		国庫支出金											
		その他		0	0	0							
	決 算 額(B)		63,314	67,012									
	概 算 人件費	職員数(人)		0.20	0.20	0.20							
		概算人件費 (C)		1,655	1,583	1,583							
概算事業費(B(A)+C)			64,969	68,595	71,894								

目標に対する成果の状況	H28年度は入学者定員を見直したことから、定員充足率は87.0%(1,044人/1,200人)であり、前年度の85.5%(1,112人/1,300人)を上回った。シニア大学生は、社会参加に重点を置いた実践講座を通じて、スーパーで高齢者の憩いのサロンを開設する取組や博物館ボランティアとして来館者に対応するなど、様々な社会参加活動を実践している。今後、シニア大学長野学部に新たに開設された専門コースで学んだシニアが、学びを活かし主体的に地域課題を解決する人材として活躍する見通しである。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	社会的ニーズに対応したシニア大学のカリキュラム編成や地域課題解決の実践者を養成する専門コースのモデル開設、信州ねんりんピックの開催等を通じて、高齢者の活躍の場をさらに広げ、社会参加の促進を図る。